

大阪市 今昔物語

今も生きる「在野の町人学者」 町人文化人」の伝統

大阪城の石垣に刻まれた無数の符号、一般に石垣刻印と呼ばれているものについて、徹底的に調べ上げた民間グ



大阪城の石垣(巨石) 大手二番石

ループ「築城史研究会」のリーダーで、そろばん塾経営者の藤井重夫さん(東大阪市、故人)、『日本の古銃』・『和時計』

などの著者として知られる日本鉄砲史研究者・古銃砲収集家の整骨院長澤田平さん(大阪市東成区)。お二人とも学歴や学会などとは無関係に本職のかたわらで築き上げた実績の

大きさが注目されます。

『大阪平野のおいたち』を著わした元・十三郵便局長梶山彦太郎さん(東淀川区、故人)や『日本郵便発達史』などの大著を著わした元・高麗橋三郵便局長藪内吉彦さん(奈良県在住)。さらに、「上方芸能」編集長から立命大教授に抜擢された木津川計さん(住吉区)は元・町の印刷屋さんだったし、府立図書館司書から関大教授に抜擢された根っからの大阪市民肥田皓三さん(池田市)の例もある。大阪では今も江戸時代以来の伝統が生きているのです。

実力ある人材いっぱい

大阪というのは、実力のある人材がいっぱい隠れている

こわいところだと私は痛感しました。

そんな伝統もあるのに、「ウソで勝てる人間でないと政治家も弁護士もつとまらない」などと口にするような安手の人物が市長になった大阪市。まさに災難です。

災難から脱出のチャンス

しかし、今度の住民投票は、そんな災難から脱出するいいチャンスです。表向きはそれぞれの商売にいそしむ一見平凡な市民が、じつは下手な学者や文化人顔負けの学識や見識を持っているというのが大阪人の良き伝統だとしたら、「ぼくちゃん負けた！」の日は近い、のでは?!

元大阪城天守閣館長 渡辺武



……お初天神……

近松門左衛門の名作「曾根崎心中」の遊女お初にちなんで「お初天神」と呼ばれています。本殿は戦災で消失し、鳥居には弾痕の跡が残ります。



今日の特集

平和が一番！ 憲法を守るための 発信を

大阪から

今年は、戦後70年の節目の年です。この間、自衛隊は、一人も他国の人を殺していません。一人の戦死者も出していません。憲法9条が歯どめとなってきたからです。

いま、集団的自衛権の行使容認の閣議決定をし、海外で戦争できるようにする法律づくりなど、憲法の制約をとりはらう動きが急になっています。

私たちは「やっぱり平和が一番」「ぜったい戦争アカン」「憲法9条をいかにした平和外交を」と世論づくりと運動をすすめています。

ところが橋下市長が、大阪都構想は憲法改正の予行練習と発言しました。市民から、それはアカンやろ！の声があがっています。

(二面に続く)



「住民投票」で棄権すると、「賛成」したことになってしまいます。「棄権は危険、ぜひ投票へ行き、「反対」とお書き下さい。

よみがえれ
大阪
大阪市をよくする会の見解をお知らせします。

「大阪市をよくする会」機関紙 2015年 4月30日 第388号
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階
TEL (06) 6356-2047 FAX (06) 6357-5303
HP : <http://yokusurukai.com> Mail : yokusurukai@nifty.com
大阪市をよくする会は、大商連、大阪労連、民医連、新婦人、日本共産党、陣連協、大生連、大信連、民青、民権連、年金者組合などで構成されています。

毎日 I LOVE
OSAKA
大阪

大阪市をよくする会 検索